

事業名	各種講習会費		
細事業名	摂食指導講習会費	財務コード	936501
担当部課室	教育委員会 高校改革・特別支援教育 課 特別支援教育 担当 (内線)		8313

調査番号	112
------	-----

I 事業の概要

実施期間	始期 不明 年度 ~ 終期 年度			
実施主体	県(直営)			
目的	<table border="1"> <tr> <td>だれ(何)を対象に 肢体不自由特別支援学校教員</td> <td>その対象をどのような状態にして 摂食機能に障害がある児童生徒に対する指導の知識が深まり、技能向上している</td> <td>結果、何に結びつけるのか 摂食指導時における誤嚥等の事故を未然に防ぐ</td> </tr> </table>	だれ(何)を対象に 肢体不自由特別支援学校教員	その対象をどのような状態にして 摂食機能に障害がある児童生徒に対する指導の知識が深まり、技能向上している	結果、何に結びつけるのか 摂食指導時における誤嚥等の事故を未然に防ぐ
だれ(何)を対象に 肢体不自由特別支援学校教員	その対象をどのような状態にして 摂食機能に障害がある児童生徒に対する指導の知識が深まり、技能向上している	結果、何に結びつけるのか 摂食指導時における誤嚥等の事故を未然に防ぐ		
内容	肢体不自由特別支援学校(甲府支援学校、あけぼの支援学校、ふじざくら支援学校、やまびこ支援学校、わかば支援学校ふじかわ分校)の教員が、日本肢体不自由教育研究会が主催する ・日本肢体不自由教育研究大会 ・障害児摂食指導講習会 へ各校から1名ずつ参加した。			

II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
活動指標	講習会への参加人数	目標	10	10	10	10	10	10
		実績(見込)	10	10	10	10	10	10
		達成率	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	b	b	b
成果指標	摂食指導時における重大事案の発生件数 ※救急車要請の件数	目標	0	0	0	0	0	0
		実績(見込)	0	0	0	3	0	0
		達成率	100.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0
		達成区分	b	b	b	d	b	b
決算(予算) 単位:千円		163	165	123	110	120	165	165

III 事業の評価(平成29年度の業績評価)

活動指標	b	評価	例年各校から1名ずつ講習会に参加し、知識・技能の習得に努めている。
成果指標	b		摂食指導時(給食時等)における重大事案の発生件数は、平成15年度以降毎年発生し累積で11回発生していたが、平成21年度後半以降の発生は3回である。

・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。
 ・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

IV 見直しの必要性(平成31年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性が高い <input type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる <input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input type="checkbox"/> その他 ()
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能 <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能 <input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	教員の摂食機能に障害がある児童生徒に対する摂食指導の知識が深まると共に技能向上が見込まれ、誤嚥等の事故を未然に防ぐことが出来る。
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある <input type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input type="checkbox"/> その他 ()
その他	説明	
見直しの必要性	有	肢体不自由特別支援学校以外にも、摂食指導の必要のある児童生徒が増えており、他校職員に対しても研修の機会を設けていく必要がある。

V 見直しの方向(平成31年度当初予算等での対応状況)

実施方法等の変更	説明	受講者を肢体不自由特別支援学校職員と限定せず、その他の特別支援学校教員も要望に応じて受講できる体制とする。
----------	----	-------------------------------------------------------

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがない場合は「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。